

2023年5月7日 復活節第五主日礼拝説教

「あなたの導かれるところ」(ヨハネ14章1～14節)

○羊のことを知る良き羊飼い(ヨハネ10章14節)

よみがえられたイエスは、きょうも「わたしは(あなたの)良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている」と語られ、「自分の羊の名」(3節)である〈あなたの名〉を呼び、行くべき道の前を歩かれる。

今日のみことば：ヨハネ14章4節

「わたしがどこへ行くのか、その道^いをあなたがたは知^{みち}っている。」

十字架につけられるときが迫った救い主イエスは、これから歩まれる道について教えられた。この後すぐに、キリストは十字架の死、よみがえりを通られて、天に上られるが、再び戻って来られ、わたしたちを〈天の住み家〉に迎えられる。

☞羊飼いなるイエスは、「わたしと共に歩む〈あなた〉が、どこへ行くのか、わたしは知っている」とも告げられる。

○神の子イエスを通らなければ(ヨハネ14章6節)

「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

- ①キリストこそ「父のもとに行く」道だが、わたしたちはすぐに道を踏み外して、闇の中を彷徨い歩くしかない。
- ②キリストにしか〈神を知る真理〉はなく、わたしたちになんの正しさも聖さもなく、頑なに神の赦しと憐れみを拒み続け、自らの殻に閉じ籠って、光を見失うばかり。
- ③キリストは決して尽きない〈まことの命〉だが、わたしたちは、己の生きる命を無駄に使い、儂く消えるだけ。

※救い主イエスに依らなければ、人は道も、真理も、命もなく、虚しく迷い出るしかない。わたしたちも、羊飼いなるイエスの導きに身を委ねて、望みなき〈わたし〉を認めながら、この方に〈よきもの〉を願い求めよう。